

祝 2021 新成人 はたちの抱負

松本市の令和2年度の新成人は2,737人で、うち鎌田地区では235人の皆さんが成人の日を迎えました。おめでとうございます。

「20歳になったら、なにしているんだろうね」
クラリネットをがむしゃらに吹いていた中学生のあの頃、部活動の帰り道に友達とこの話をしたことを、今でも鮮明に覚えています。しかし、上京すること、将来の目標も、コロナが日常を変えてしまうことも、何ひとつあ



藤原 貴里
(高宮町会)

の頃の私には想像できませんでした。未来は誰にもわかりません。わかるのは、未来をつくるのは今の自分だということです。
中学生の頃、部活動で一番喜びを感じたのは、演奏会でお客さんが笑顔になってくれる瞬間でした。あの時の喜びが、「多くの人に笑顔や幸せを与えられる人になりたい」という私の目標につながっています。

たとえ辛くても、結果が見えなくても、今の私が未来の自分をつくっているのです。だから私は、未来の自分が後悔しないように、勇気を出して新たなことに挑戦しよう、自分の気持ちを相手に伝えよう、と心に決めています。私はこれからも、感謝の気持ちを忘れず、小さな幸せを見落とさないように、自分らしく生きていきたいです。

今年成人を迎えたたくさん仲間と、この文章を読んでもくださる方々の未来が、明るく幸せなものでありますように願っています。

私は現在小学校教諭になることを目標に大学で勉強をしています。昨年は新型コロナウイルスに悩まされ、オンライン授業や外出の自粛等、慣れない環境下での生活を余儀



平林 伊吹
(石芝町会)

実行委員としては、主にパンフレット製作のリーダーとしてレイアウトや文章を考えたり、コロナ感染症対策に力を入れたりしながら準備を進めてきました。また、新成人として「松本市を若者にとつてより住みやすい街にするためにはどのような取り組みをしていけばよいのか」について、同じ年の仲間たちと話し

合ったりもしました。残念ながら1月の成人式の式典は延期となりましたが、このような状況下でも開催の可能性が残されていることに感謝をし、実行委員としての役割を最後まで果たしたいと思っています。
2021年、新成人となった今、子どもたちの人生にかかわる仕事に就くという自覚をより一層強くもち、自分が学んだ知識や経験を社会に還元できるように、日々研鑽していきたいと思っています。2年後の春に、胸を張って教壇に立つ自分の姿を思い浮かべながら。



鎌田地区
令和3年1月1日現在
総人口 19,678人
(前年比 +147人)
世帯数 9,132戸
発行 鎌田地区公民館
公民館報編集委員会

なくされました。しかし、成人式の実行委員となったことで、新しい自分に出会える年にもなりました。

..... 20年前はこんな年でした。覚えていますか?

- 2000 (平成12) 年 4月 ● 松本市議会議長に県内初の女性議長 (田口敏子さん) 誕生
- 7月 ● 新紙幣の2000円札発行
- 9月 ● シドニー五輪の女子マラソンで高橋尚子さんが金メダル
- 10月 ● 長野県知事選挙で田中康夫さんが当選
- 11月 ● イチローが日本人野手として初めてアメリカ大リーグと契約
- 2001 (平成13) 年 1月 ● 21世紀の幕開け

流行語大賞 IT革命

ヒット曲 「TSUNAMI」 (サザンオールスターズ)

ベストセラー 『ハリー・ポッターと秘密の部屋』

2001 (平成13) 年1月の

松本市の人口 209,455 人
(2021年1月は237,970人)

鎌田地区の人口 17,879 人
(2021年1月は19,678人)

街かどの話題 147

年末の公民館に彩り



鎌田地区公民館

鎌田地区公民館は60を超えるサークルの活発な活動や各種団体の会議などで利用いただいています。公民館の運営や整備にあたって、日頃から地域の皆さんに温かく支えられています。

毎年6月と10月には活動サークルの皆さんに参加いただき、公民館をはじめとする広い複合施設の敷地内の草取りを実施しています。

12月16日に行った公民館の大掃除にも大勢の皆さんのお手伝いがあり、コロナ感染に備えて、館内の机と椅子



鎌田地区公民館の正面入口(撮影:12月28日)

子をすべて丁寧拭いていただきました。

昨年末には、村松昭雄さん(井川城中区)が共同農園で花遊会の仲間と栽培した葉牡丹を公民館前のプランターに寄せ植えしてくださり、太田千鶴さん(南原)からは丹精込めて育てた立派な金のなる木をいただきました。

毎年12月に地域の子どもたちにしめ縄づくりを教えている松本捷幸さん(両島)からは、公民館と福祉ひろばに正月用のしめ飾りを届けていただきました。

本紙「鎌田地区版」が令和2年度の全国公民館報コンクールで入賞

第8回全国公民館報コンクールで、本紙「鎌田地区版」が奨励賞を受賞しました。松本市は35地区それぞれで公民館報地区版を発行していますが、松本市の地区版のコンクール入賞は6年振りです。

公民館報編集委員会では、今後さらに親しみやすく読みやすい公民館報の編集をめざしていきますので、皆さんの率直な感想やご意見をお寄せください。



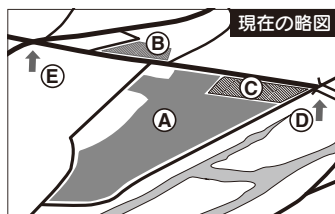
毎月初に5人の委員が編集会議を開催



鎌田地区の歴史 ⑪

両島浄化センター建設前の両島地域

(昭和56年・浄化センター予定地の上空から撮影)



- ①…両島浄化センター
- ②…鎌田地区公民館ほか
- ③…両島浄化センター運動広場
- ④…両島橋(奈良井川)
- ⑤…征矢野交差点

両島浄化センターは松本市と両島町会との調停成立を経て、昭和60(1985)年に着工、昭和63年に稼働を始めた。

あわせて周辺に公共文化施設の建設が進み、西部公民館(現在の鎌田地区公民館)が昭和59年に開館。さらに体育館、図書館、児童センターも開館し、交通面でも島立方面と繋ぐ両島橋が平成5(1993)年に竣工するなど、この地域はかつての農村地帯から急激に変貌した。

雑感

18年前に両手のひらに収まるほどの子犬は、生後わずか6週間だというのに良く寝けた賢い子だった。独り療養中の生活を彩るよう「パレット」と名付け、一緒に寝起きし自然食で育てた▼体重3kg、シルバーのトイプードル。穏やかなパレットは誰からも可愛がられたが、13才で白内障をはじめ次々と病院通いの身となった。光を失っても腎臓病でも散歩は続けた▼昨年9月、病院へ行く前に尻尾を振ったのが最後のご挨拶だった。大勢の人と私を結び付け、豊かな時間を過ごさせてくれた。涙が溢れた▼時々パレットと散歩したあがたの森を友人と訪れて夢のような光景に出合った。小春日和の日差しの下で奏でられている音色は柔らかく、天上の響きかと思われた。少年が近くで曲に合わせて踊っていた▼ハンマー・ダルシマーという打弦楽器と教わった。コロナ禍でライブが減っても練習は欠かさないと

言った若いミュージシャンが、大病を乗り越えた人と後で知った。逆境の中で精進する姿に心からのエールを送りたい。

(南雲多采子)